

平成25年度第12回新たな市政運営の総合的な指針に係る庁内策定検討  
委員会専門部会

日時 2013年10月23日（水）

午後2時

場所 第3庁舎第1会議室

日 程

1 開会

2 議題

(1) 専門部会、検討委員会の開催結果について（資料1-1, 1-2）

(2) 市民意識調査連動型ワークショップについて（資料2-1～2-6）

ア 実施概要について（資料2-1）

イ 当日の進行, アンケート調査の概要等について（資料2-2～2-6）

(3) その他

3 閉会

（事務局 企画政策課 内線2171）

平成 25 年度第 11 回新たな市政運営の総合的な指針策定検討委員会専門  
部会議事概要

- 1 日時 2013 年 10 月 11 日（金）午前 9 時 30 分～10 時 40 分
- 2 場所 職員会館 3 階ミーティングルーム
- 3 議題

(1) 専門部会の開催結果について

資料 1 については後程ご確認いただきたい。郷土づくり推進会議との意見交換を 9 月 20 日から行っている。重点施策候補についての意見が多い。公園の整備、藤沢駅、村岡新駅の整備に関する質問が多い。議事録については後日お渡しする。

（質疑）

- 各地域とのキャッチボールはいつまで進むのか。
  - ◇ 地区集会も含めて、年内は意見を聞いて、反映する予定である。
- 新規事業のみを対象としているのか。
  - ◇ 新規に限らないが粛々と進める事業は載せないということを理事者から説明した。
- 公園、駅周辺についてはどのように回答しているのか。
  - ◇ それぞれの状況を含めて進めていくという回答をしている。

(2) 市民意識調査連動型ワークショップについて

資料 2-1～2-3 について説明した。検討委員会に対しては、10 月 17 日の第 11 回委員会会議において報告する。

（質疑）

- 長後に来ることが想定される数はどのくらいか。
  - ◇ 学生によるが 10 名程度かと思われる。
- ワークショップが形成できない場合は茶話会的に進めたほうが良い。
  - ◇ 三澤さん 29 日 NG、齋田さん 2 日 NG
    - 出席できない委員は早めに事務局までご連絡いただきたい。
- グラフなどの記載をし、テーマを絞ったほうが良い。
  - ◇ 重要度が高い、満足度が低いなどについて、それぞれのトピックとなる

ようなものをピックアップして現在の取組を掲載することやクロス集計の結果を掲載したりするようにしたい。

- クロス集計の結果を求められることがあるので、生データを持参したほうが良い。

- ✧ 持参する。(PCが必要)

- 地区と年代のクロスで回収率を出す必要があるのではないか。

- ✧ 参加率や回収率の内容であれば、事後の検証用の際に準備したい。

- 自由記述欄についても話題の傾向があると思う。

- ✧ 参加者について、チェックしておく。

### (3) 今後のスケジュール案について

資料3に沿って説明した。

(質疑)

- 今後の検討内容はどのようなものか。

- ✧ ワークショップの企画、実施である。施策、事業検討は部会としては想定していない。市民周知用のリーフレット等の検討を要領に定めているので、作成時に意見をいただくことがあるかと思う。

### (4) その他

重点施策の絞り込みについては、理事者と調整してから検討委員会で精査していくこととなる。意識調査、ワークショップの結果も踏まえていくことを想定している。重点事業については、地域まちづくり事業について、地域から本庁に移るものについては、重点事業とするか留意する必要がある。

(質疑)

- 予算要求の入力・新規事務事業、今後の事務量については、どのようなことが想定されるか。

- ✧ 1月以降に多少の作業が生じるかも知れない。基本はヒアリング時に調整することとなる。

平成 25 年度第 11 回新たな市政運営の総合的な指針庁内策定検討委員  
会議事概要

1 日時 2013 年 10 月 17 日（木）午前 11 時～11 時 40 分

2 議題

(1) 検討委員会・専門部会の開催結果について

資料 1 - 1～1 - 3 については、前回の検討委員会及びこれまでの専門部会の開催結果概要であるので、後程ご確認いただきたい。

(2) 議員全員協議会の開催結果について

資料 2 については 8 月 26 日に開催された市議会議員全員協議会の開催結果概要であり、委員が出席したものであるため、後程ご確認いただきたい。

(3) 市民意識調査連動型ワークショップの実施について

資料 3 に沿って説明した。今回は無作為抽出による市民意識調査とその調査結果をもとにした深掘りを目的としたワークショップとして初の試みとなる。市民意識調査については締切前であるため、途中経過として参考にお示しするが、施策に関する市民意識として、今後の施策検討の参考として欲しい。

（質疑）

- アンケートの数値に重きを置かないことも必要かと思う。
  - ◇ 目標管理指標とベンチマークの捉え方もあると思う。数値としては受け止めて、要因分析と評価、改善の取組みにつなげることが必要であると考えている。
- 施策候補 18 番は施策と合致していない。変えるべきかと思う。
  - ◇ 新総合計画からの流用として、活用をしているという面もあるのでご理解をいただきたい。
- 施策とアンケート内容を結びつけたものであるという説明を入れて、数値は省くということにして欲しい。
  - ◇ 資料を修正し、改めて提出したい。
- 数値の下がった経過、変化した要因について分析すべきである。
  - ◇ すべて比較分析した結果を提示したい。同じ内容ではあるが、外部要因やアンケートの設問順等の影響もあることは想定している。現状では

アンケートが東日本大震災前に調査したものであることから、その影響は少なからずあるものと捉えている。

(4) 重点施策の選定について

資料4に沿って、理事者と案を作成するなかで、検討委員会から意見をいただき、キャッチボールをしていく方向で進めることを説明した。

(5) 重点事業の指定について

資料5に沿って、事業指定については、平成26年度予算の理事者調整前に実施するが、予算調整のなかでも併行して検討し、同時期に指定、示達することを想定していることを説明した。

(6) 今後の検討スケジュールについて

資料6に沿って説明した。

(7) 郷土づくり推進会議との意見交換・地区集会について

資料7に沿って説明した。

郷土づくり推進会議には、これまでの経過と二次案について説明をし、意見交換をお願いしているもので、鉄道と道路のネットワークが重複しているのではないかという意見、藤沢駅、村岡新駅への意見、芸術部分を特化して欲しいという意見、市民活動の充実に関する意見、歳入確保に関する施策への意見、建物の老朽化対策についての意見があった。関係事業については別途ご連絡する。地区集会については、企画政策部で担当をし、各地区での市民意見を集約することを目的としている。地区集会については理事者の出席は予定していない、また委員の動員も想定していないが、足をお運びいただければと考えているので、よろしく願いしたい。

## 暮らしやすさを創るテーブル（市民意識調査連動型ワークショップ）の実施について

### 1 目的と概要

総合計画の策定、評価には市民満足度調査や実現度、充足度調査等を実施してきましたが、「(仮称) 新たな市政運営の総合的な指針」の策定と評価に当たり、①市民が重要と考える施策の抽出、②市民による重点施策等に関する意見交換と情報共有を連動させ、更に③市民活動と市政参画への動機付けを加えた事業を実施します。

これは、市民意識調査を連動させたワークショップを開催し、これまで別々に実施していたものを融合させることで、相乗効果を高めるとともに、市民の施策への関心の向上に寄与することを期待するものです。

#### (1) 市民意識調査の実施（無作為抽出、統計的处理）

無作為抽出した市民に対し、基本目標に対する実現度や重点施策に対する重要度・実現度（満足度）を調査するとともに、ワークショップへの参加を求めます。

#### (2) 市民意識調査結果を踏まえたワークショップの開催

市民意識調査結果をもとにワークショップを開催します。

市民意識調査を元にしたワークショップとするため、一定の考え方や疑問点をあらかじめ有していることが想定され、個人の考え方と他者の意見、統計結果を照らし合わせるなかで、より深化した意見交換や深掘りした議論が期待されます。

また、楽しさや学びの要素を加えるため、市長・副市長との対話や講演会を実施し、併せて市民活動の紹介等を実施します。

#### <「暮らしやすさを創るテーブル」について>

市民意識調査のデータ(テーブル)と意見交換, 懇話等を行う場としての「テーブル」の両方の意味を込めて、融合した一連の事業を「暮らしやすさを創るテーブル」とします。





## 2 詳細実施内容

詳細実施内容については、次のとおりとします。

### (1) 市民意識調査

層化2段（年代・地域）による無作為抽出による郵送法で、市民意識調査を実施する。調査内容は、次のとおりとします。調査項目は、できるだけこれまでの資源を活用するため、市民満足度調査、新総合計画における実現度（当時は充足度）調査等のデータを活用し、経年変化が可視化できるように努めます。

#### ア 基本目標に関する実現度

新総合計画の「ふじさわ未来課題」から成果として近似するものを選択し、ベンチマーク<sup>1</sup>とし、その実現度について調査します。

#### イ 重点施策候補（39施策）に関する重要度・実現度（満足度）

新総合計画の「戦略目標」、「政策」の成果指標から近似するものを選択し、ベンチマークとし、その重要度、実現度（満足度）について調査します。

#### ウ ワークショップへの参加可否

ワークショップへの参加意思、保育、手話通訳の必要の有無等は無記名方式で調査します。中止の場合の連絡等はホームページで行うこと、参加はアンケートの提出により自動的に承諾されることを周知します。

#### エ 自由記述欄

### (2) ワークショップ

無作為抽出した調査対象者に向けて、ワークショップの参加案内、申込項目を調査票と併せて送付し、参加を募るとともに、大学生を中心に若年世代への参加を依頼します。

市民意識調査結果を集計し、ワークショップの資料として準備し、参考とし

<sup>1</sup> ベンチマーク 目標とする基準又は状態を評価する基準のこと。

て必要な情報（関連する施策，事業の状況等）を添付した資料を作成します。本来であれば当日のテーマとなるアンケート結果についての事前送付が必要となりますが，アンケート自体において個人情報収集しないため，当日配布とし，資料のボリュームを抑えつつ，当日に内容報告を行うこととします。

テーマ等については，次のとおりとします。

（ワークショップのテーマ例）

ア 重要度の高い施策・事業や実現度（満足度）の低い施策，事業について，身近なところで，どのようなことが該当しているのかの検討

イ 重要度の高い施策・事業や実現度（満足度）の低い施策，事業について，その原因や改善方法についての検討

ウ 基本目標や重点施策候補の全体の傾向を捉え，相対的な状況についての意見交換

（市民参加を促進する取組案）

エ 市政参画を促す市長との対話，講演会又は市政への市民参加に繋がる活動への誘導（活動紹介）

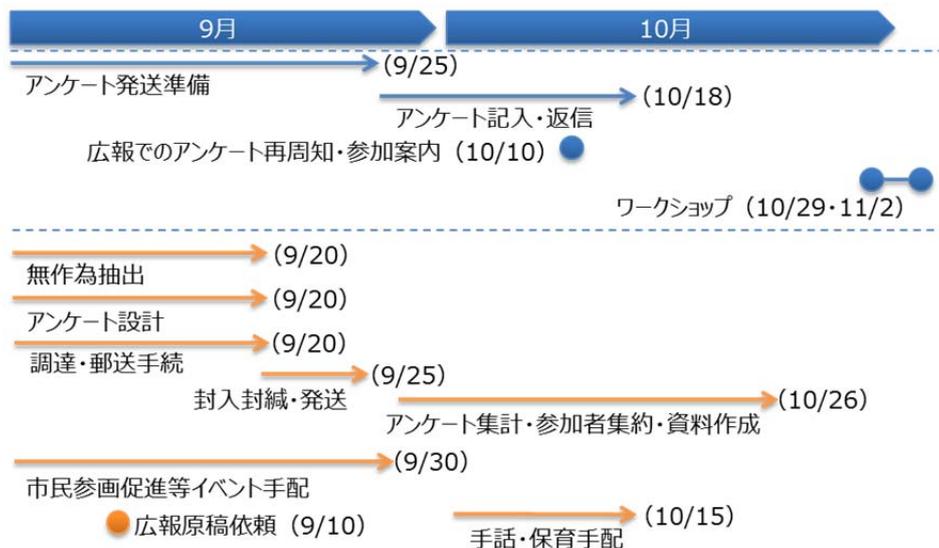
（ア）ワークショップでの意見を市長に聞いてみる。（コーディネーターの要否）

（イ）市政参加につながるミニ講座（手塚明美氏に依頼済）

オ 各地域の地区報，ミニコミ誌，藤沢市市民活動推進センター情報誌，ボランティア情報誌「VOLUNTEERS-ボランティアーズ」等の配布

### 3 基本スケジュール

基本スケジュールについては，次のとおりとします。



## 「暮らしやすさを創るテーブル」の進行について

## 1 当日のスケジュール概要

全体で約150分を想定しているが、ワークショップの進み具合に応じて、早目に終了する。

- (1) 市長挨拶（5分）
- (2) 新たな指針の概要説明（15分）
- (3) 指針に関する質疑応答（5分）

5分経過後は個別に質疑応答を受ける。

- (4) ワークショップの進め方説明（5分）
- (5) アンケート調査結果発表（10分）

アンケート内容に区分して結果を報告する。内容については上位、下位のほか、それらの地区別、年代別、男女別等の分析をし、あわせて報告する。

## ア 実感に関する調査

- ・ 実感が高いものは「環境に配慮したゴミ処理がされている（71.56%）」  
「市内の観光に活力がある（52.91%）」「交通ネットワークが充実している（49.34%）」などであった。
- ・ 実感が低いものは「公共施設を次世代のために、より良い状態で引き継いでいる（23.94%）」「市内の農水産業に活力がある（30.95%）」  
「地域で支え合っていると感じる（31.08%）」などであった。

## イ 実現度に関する調査

- ・ 実現度の高いものは「消防や救急の活動が充実していて、安心できること。（71.56%）」「市民が自慢できるまちであること。（53.57%）」  
「道路が整備され、快適であること。（51.98%）」であった。
- ・ 実現度が低いものは「自然エネルギーが有効に活用されているまちであること。（10.05%）」「パソコンなどの情報機器を使った学校での教育活動が盛んなまちであること。（18.65%）」  
「社会的弱者の方が快適に過ごせるまちであること。（22.22%）」であった。

## ウ 満足度に関する調査

満足度については全体的に低い値を示している。

- ・ 満足度が比較的高いものは「いつでも安心して受けられる医療の充実について（35.29%）」「安心して子育てができる環境づくりについて（27.39%）」「斜面緑地や樹木など緑の保全について（26.29%）」であった。
- ・ 満足度が低いものは「保育園の待機児童の解消について（9.92%）」「橋や下水道の老朽化対策について（9.94%）」「新しい産業の立地について（13.68%）」であった。

#### エ 都市像・基本目標に対する実現度

- ・ 都市像については、比較的高い実現度となった（約60%）。
- ・ 基本目標に関しては、福祉，子育て，環境の実現度が比較的高く，産業，市民参加，防災の実現度が低かった。

#### オ 重要度に関する調査

- ・ 重要度については、質問の区分ごとに、質問項目数の約半数を選択できるように設定した。
- ・ 重要度については、「防災・防犯・消防」「健康・福祉・医療」が高かった。環境については施策で高い反面、基本目標レベルでは低かった。

#### (6) ワークショップ（60分）

10名を1グループの目安として、編成する。

アンケートの内容は漠然としているので、感じたこと，課題点の深堀又は要因の分析を中心としながら、考えを順番に発表していく。

考えについては記録をし、意見をグループごとに集約していく。

#### ア 自己紹介（10分）

イ アンケート結果からグループで関心のある分野についての意見交換を行う。

（2分野程度，20分×2セッション）

「アンケート集計結果をどのように感じましたか。」

「アンケート集計結果が低い（高い）原因は何だと思われますか。」

「誰が何をしたらより良い状態に改善されると思いますか。」

ウ 意見交換した内容をもとに、市長に答申する市民ビジョン「暮らしやすい藤沢に向けて」をまとめる。（10分）

#### (7) 発表と市長との意見交換（10分×3グループ）

(8) 閉会（5分）

(9) 感想・意見シートの記入と提出（15分）

## 2 役割分担の想定

(1) 10月29日（長後市民センター 参加希望 3名）

専門部会2名，事務局3名体制

役割	人数	担当
会場設営	3	事務局
受付	2	専門部会
進行・説明	2	事務局
ワークショップ進行	2	専門部会
ワークショップ書記	2	事務局
撤収	5	専門部会・事務局

(2) 11月2日（市役所第3庁舎 参加希望 30名）

専門部会8名，事務局6名体制

役割	人数	担当
会場設営	6	事務局
受付	4	専門部会（事務局）
進行・説明	2	事務局
ワークショップ進行	4	専門部会
ワークショップ書記	4	専門部会（事務局）
撤収	14	専門部会・事務局

## 3 配布資料

(1) 日程

(2) 新たな指針説明資料（地区集会用と同じもの）

(3) アンケート調査結果（ポイント，アンケート調査票を含む。）

(4) 参加感想記載用アンケート

# 総合計画に替わる 新たな指針の策定について

これまでの総合計画の仕組みを改め、  
新たな市政運営の総合的な指針を策定します。

2013年（平成25年）10月29日・11月2日  
藤沢市企画政策部企画政策課

## 総合計画とは

- 1969年（昭和44年）に地方自治法において策定を義務付け（議会同意）
- 地域における総合的計画的な行政運営のための構想（自治体の最上位計画）
  - － 総合計画の意義
    - 中長期の行動指針
    - 行政の総合性の担保
    - 地方行財政の効率的運営
    - 行政課題・政策課題の客観的把握 等

## 藤沢市の総合計画

名称	計画期間	概要
藤沢市総合計画	S44～H2	自然と生活環境に恵まれ、産業と文化の調和のある住み良い都市の実現をめざす。
藤沢市新総合計画	S54～H2	市民のまちづくりへの参画と湘南の中核都市にふさわしい都市づくりを構想する。
藤沢市第二次新総合計画	H3～H12	前計画の構想を引き継ぎながら、共生・活力・創造を進めるという方向性を位置づける。
ふじさわ総合計画 2020	H13～H32	一生安心して暮らせるまちを標榜し、7つの基本目標を定める。
藤沢市新総合計画	H23～H43	社会経済情勢の変化や少子高齢化を背景に、新しい公共を前提とした公共経営理念を位置づける。

## 新総合計画の見直し

- 市長交代に伴い、現行の新総合計画の見直しについて検討を行いました。



基本構想 = 新しい公共・地域経営



鈴木市政が進める市政運営の考え方

## 総合計画の課題

- 策定に多くの時間と労力、経費がかかっています。
- 市の事業を総花的に位置づけているため、重要、緊急な取り組みが見えづらくなっています。
- 多くの事業を位置づけた長期間の計画であったため、実施に当たって財政上の担保が十分にできない状況となっています。

## 総合計画の仕組みの廃止

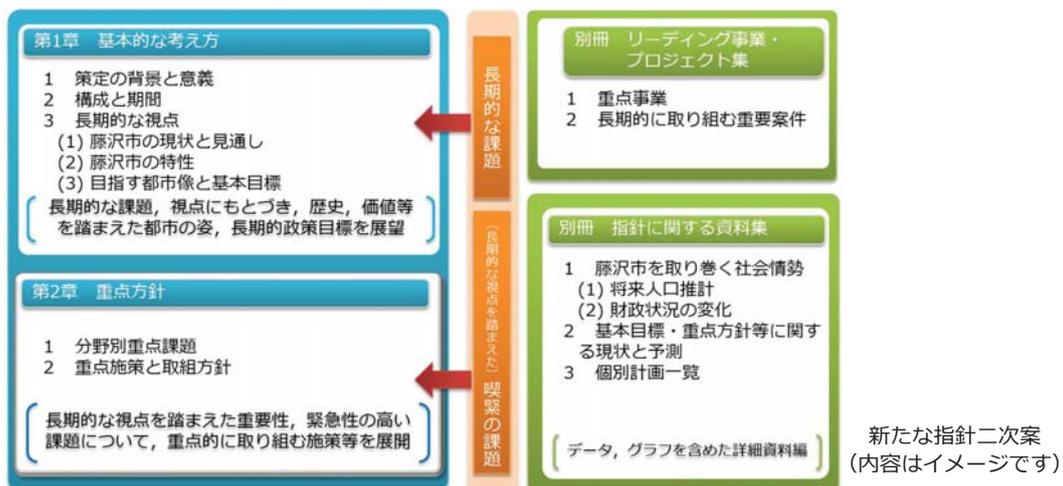
- 総合計画自体のあり方を含めて見直した結果、総合計画に替わる新たな仕組みをつくります。
    - － 多くの事業は、経常的に継続して実施されています。
    - － 部門別（個別）計画があり、計画的に事業が進められています。
    - － 地方自治法が改正され、総合計画の策定義務がなくなりました。
- ↓
- 市政全体をとらえたなかで、重点的な取り組みを明らかにすることが必要と考えます。

## (仮称) 新たな市政運営の総合的な指針

- 市長交代に関わらず継続できる仕組みとします。
- 指針の期間は、市長の任期にあわせたものとします。
- その時々々の社会情勢等に即した、市の重点化計画として策定します。
- 分かりやすい体系と構成にします。
- 時間や経費を極力かけずに策定します。

## 新たな指針の概要

- 将来の藤沢の姿を描きながら、重点的に取り組むべきことを政策、施策、事業という一連の方向性をもって、体系的に位置づけます。



## 都市像と基本目標（案）

- 20年後の藤沢を展望し、共通してめざす都市の姿と基本的な目標

### 都市像

## 郷土愛あふれる藤沢

～松風に人の和うるわし湘南の元気都市～

### 基本目標

- |               |                |
|---------------|----------------|
| 安全な暮らしを守る     | 文化・スポーツを盛んにする  |
| 豊かな環境を創る      | 子どもたちを守り育む     |
| 健康で安心な暮らしを支える | 地域経済を循環させる     |
| 都市基盤を充実する     | 市民自治・地域づくりを進める |

## 重点施策(重点的な取り組み)(案)

- この3年間に、特に重点を置く取り組み
  - すべての取り組みを確実に進めるなかで、特に注力するもの

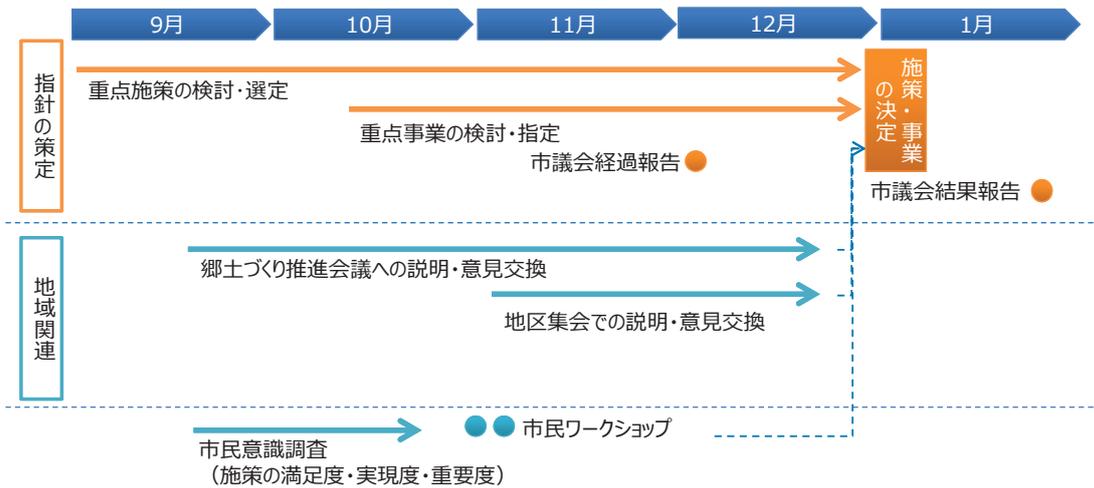
### 重点施策候補案の一部

- 災害に強いまちづくりの推進
- 13地区のまちづくりの推進
- 元気と健康づくりの推進
- 藤沢駅周辺地区再整備の促進
- 待機児童の解消

など

## 今後のスケジュール

- 12月中旬までにいただいたご意見を踏まえ、12月末に重点施策・重点事業を決定します。



Copyright © Fujisawa City Office, All rights Reserved.

よろしくご協力くださいますようお願いいたします。

## 市民意識調査の実施結果について（途中経過）

これまで本市では、総合計画の策定、評価に当たり市民満足度調査や実現度、充足度調査等を実施してきましたが、「(仮称) 新たな市政運営の総合的な指針」の策定と評価に当たり、市民が重要と考える施策の抽出と市民による重点施策等に関する意見交換、情報共有を連動させ、更に市民活動と市政参画への動機付けを加えた事業を実施します。

今回は、この一連の事業を市民意識調査連動型ワークショップとして「暮らしやすさを創るテーブル」と称しています。

## 1 市民意識調査実施結果(途中経過)

(1) 対象 無作為抽出した9月1日現在20歳以上の市民 2,045人

(2) 調査内容 都市像, 基本目標, 重点施策候補の指標(ベンチマーク)

成果指標については、新総合計画の「ふじさわ未来課題」「成果指標」をできる限り引用し、前計画策定時の民意、資源(経費)を活用することとしました。

また、指標については目標管理とせず、基準(ベンチマーク)とし、その指標値をもとに改善、推進を図るための材料として位置づけます。

(3) 回答状況(10月22日現在)

ア 回答数 756件

イ 回収率 36.97%

ウ ワークショップ参加意向

(ア) 参加 33人(長後3, 市役所30)

(イ) 不参加 478人

(ウ) 未定 195人

(4) 集計状況 別紙のとおり

以 上

## (仮称) 新たな市政運営の総合的な指針に関する市民意識調査結果

## 1 基本属性

## (1) 性別

性別	回答数	割合
男性	323	42.72%
女性	403	53.31%
未回答	30	3.97%

## (2) 年代

年代	回答数	割合	回収率
20歳代	53	7.01%	20.31%
30歳代	115	15.21%	31.08%
40歳代	146	19.31%	34.19%
50歳代	114	15.08%	39.31%
60歳代	158	20.90%	47.31%
70歳代	123	16.27%	48.24%
80歳代	44	5.82%	37.29%
90歳代～	0	0.00%	0.00%
未回答	3	0.40%	

## (3) 職業

区分	回答数	割合
会社員	208	27.51%
自営業	43	5.69%
団体職員	20	2.65%
農林漁業	1	0.13%
家事専業	165	21.83%
パート・アルバイト	97	12.83%
学生	13	1.72%
無職	160	21.16%
その他	44	5.82%
未回答	5	0.66%

## (4) 居住地区

区分	回答数	割合	回収率
片瀬地区	32	4.23%	30.77%
鵜沼地区	105	13.89%	37.77%
辻堂地区	77	10.19%	38.89%
村岡地区	52	6.88%	38.52%
藤沢地区	78	10.32%	33.62%
明治地区	35	4.63%	25.18%
善行地区	75	9.92%	35.38%
湘南大庭地区	49	6.48%	29.70%
六会地区	53	7.01%	33.13%
湘南台地区	63	8.33%	43.45%
遠藤地区	33	4.37%	56.90%
長後地区	53	7.01%	32.32%
御所見地区	33	4.37%	35.87%
分からない	12	1.59%	
未回答	6	0.79%	

## 2 重点施策に関する調査

## (1) 実感度（充実感等があるか）

施策候補名	非常に ある	少し ある	あまり ない	まった くない	該当 しない	分から ない	未回答	実感度
地域で災害への備えができていますか？	28	241	226	53	122	68	18	35.58%
公共施設を次世代のために、より良い状態で引き継いでいますか？	20	161	229	38	188	98	22	23.94%
地域で支え合っていますか？	26	209	240	53	168	44	16	31.08%
市内に文化的な魅力がありますか？	65	272	180	54	131	29	25	44.58%
健康づくりを支える環境が充実していますか？	37	253	190	40	180	41	15	38.36%
市内の商業に活力がありますか？	35	218	211	53	164	58	17	33.47%
市内の農水産業に活力がありますか？	26	208	192	43	181	85	21	30.95%
市内の観光に活力がありますか？	90	310	142	38	123	30	23	52.91%
交通ネットワークが充実していますか？	86	287	156	52	129	27	19	49.34%
スポーツ施設が充実していますか？	52	256	161	42	182	45	18	40.74%
環境に配慮したゴミ処理がされていますか？	169	372	51	9	107	31	17	71.56%

## (2) 実現度（充足度）

施策候補名	大変 充足	概ね 充足	不足 気味	不足	分から ない	未回答	実現度
市民が自慢できるまちであること。	50	355	232	31	75	13	53.57%
市民自らが藤沢を良くする活動に積極的であること。	25	178	311	83	141	18	26.85%
豊かな地域の資源を大切に、楽しい体験ができるまちであること。	23	191	273	85	165	19	28.31%
社会的弱者の方が快適に過ごせるまちであること。	15	153	276	127	168	17	22.22%
子どもが、住んでいる地域に誇りを持ち、地域で暮らし続けていること。	59	296	190	45	147	19	46.96%
福祉が充実し、子どもから高齢者まで守られていること。	33	231	235	93	144	20	34.92%
犯罪のない、明るいまちであること。	32	349	200	71	85	19	50.40%
パソコンなどの情報機器を使った学校での教育活動が盛んなまちであること。	17	124	165	31	403	16	18.65%
食事や食生活を意識した学校生活がなされていること。	31	187	110	23	383	22	28.84%
消防や救急の活動が充実していて、安心できること。	109	432	85	16	102	12	71.56%
道路が整備され、快適であること。	75	318	208	114	29	12	51.98%
自然エネルギーが有効に活用されているまちであること。	7	69	223	140	300	17	10.05%

## (3) 満足度

施策候補名	大変満足	やや満足	普通	やや不満	不満	分からない	未回答	満足度
自治会活動について	46	104	372	67	48	101	18	22.90%
市民主体のまちづくり活動について	14	86	340	67	30	196	23	17.86%
高齢者の在宅サービスについて	15	55	199	74	32	358	23	17.59%
安心して子育てができる環境づくりについて	26	126	238	100	34	201	31	27.39%
新しい産業の立地について	13	45	185	105	49	332	27	13.68%
生涯学習の機会や場の提供について	15	84	253	99	34	240	31	19.19%
美しい街なみなど、市内の景観づくりについて	35	146	292	131	61	65	26	26.19%
斜面緑地や樹木など緑の保全について	36	137	301	106	55	98	23	26.29%
いつでも安心して受けられる医療の充実について	65	187	269	113	56	42	24	35.29%
個性豊かな児童生徒が育成される開かれた学校づくりについて	10	54	204	78	35	343	32	15.50%
保育園の待機児童の解消について	7	28	123	86	74	403	35	9.92%
駅をはじめとする都市の拠点の整備について	45	149	260	142	92	43	25	27.21%
市の北部の道路や住宅の整備について	17	86	184	99	82	263	25	20.89%
橋や下水道の老朽化対策について	9	40	211	124	78	263	31	9.94%

## 3 都市像・基本目標に関する調査（実現度（充足度））

施策候補名	大変充足	概ね充足	不足気味	不足	分からない	未回答	実現度
暮らしやすいまちであること。	42	415	153	46	78	22	60.45%
愛着の持てるまちであること。	62	359	145	33	136	21	55.69%
災害に対して、市民が不安なく暮らせるまちであること。	14	209	267	87	155	24	29.50%
地域の記憶や文化が継承され、発展すること。	19	198	228	59	225	27	28.70%
まちと自然環境の調和がとれていること。	30	360	185	48	110	23	51.59%
子どもを安心して育てられる環境があること。	33	338	159	45	154	27	49.07%
保健、医療、福祉、健康などの生活環境が整い暮らしやすいこと。	45	375	179	44	86	27	55.56%
産業の活力を高め、地域が元気になること。	10	143	253	97	226	27	20.24%
移動や利用にあたり、誰でも利用できる道路や施設であること。	36	286	219	85	108	22	42.59%
市民の意識が高く、市民参加型の地域づくりが進んでいること。	15	171	242	67	239	22	24.60%

## 4 重要度調査

施策候補名	割合
災害に強いまちづくりの推進	51.32%
公共施設の再整備の推進	13.62%
13地区のまちづくりの推進	28.84%
市民文化ゾーンの再整備の推進	11.90%
元気と健康づくりの推進	21.96%
市内中小企業の活力再生	22.22%
市内産農水産物の地産地消の推進	13.76%
地域資源の開拓等による消費観光の推進	12.96%
誰が快適に移動できる交通まちづくりの推進	28.44%
スポーツ施設の整備拡充	8.86%
環境施設整備の推進	35.45%
シティプロモーションの推進	21.03%
マルチパートナーシップの推進	14.81%
郷土文化資産の活用の推進	8.73%
障がい者の相談支援体制の拡充	38.10%
若者を中心とした自立支援	24.34%
きめ細やかな福祉相談と事業連携の推進	42.86%
犯罪のない、明るいまちづくりの推進	49.34%
教育現場におけるICT化の推進	4.89%
学校生活における食の充実	10.71%
消防力の充実・強化	39.95%
安全で快適な道路環境の整備	26.72%
再生可能エネルギーの推進	20.77%
地域コミュニティ活動への支援強化	12.30%
市民が実感する市民活動の推進	9.39%
高齢者福祉施設・居住（居宅）系サービス基盤の整備促進	34.79%
地域のニーズに即した子育て支援策の充実	38.76%
企業立地の促進	12.57%
「学び」を活用した生涯学習の充実	10.45%
（仮称）街なみ百年条例にもとづく歴史と景観まちづくりの推進	21.43%
谷戸をはじめとする緑地保全の推進	16.80%
公立病院としての機能強化	49.60%
学校生活に困難がある児童生徒への対応の強化	18.92%
待機児童の解消	22.35%
村岡地区まちづくりの推進・藤沢駅周辺地区再整備の促進	26.06%
西北部のまちづくりの推進・土地区画整理によるまちづくりの推進	10.71%
都市インフラ（橋梁、道路、下水道等）の再整備の推進	35.58%
暮らしやすいまちであること。	39.55%
愛着の持てるまちであること。	20.37%
安全な暮らしを守る	46.69%
文化・スポーツを盛んにする	8.47%
豊かな環境を創る	12.96%
子どもたちを守り育む	31.48%
健康で安心な暮らしを支える	46.16%
地域経済を循環させる	19.71%
都市基盤を充実する	20.77%
市民自治・地域づくりを進める	9.79%

## 5 参加申込状況

## (1) 参加意思

区分	回答数
参加（10月29日（長後））	3
参加（11月2日（市役所））	30
不参加	478
未定	195

## (2) 参加テーマ

テーマ	回答数
防災・防犯	7
文化・スポーツ	2
環境	7
子育て・教育	2
福祉・健康	8
地域の経済	3
都市基盤（道路・公園・下水道など）	6
自治会・地域の活動	2
その他	1
わからない	3

(仮称) 新たな市政運営の総合的な指針に関する市民意識調査結果

1 基本属性

(1) 性別

性別	回答数	割合
男性	323	42.72%
女性	403	53.31%
未回答	30	3.97%

(2) 年代

年代	回答数	構成比	回収率
20歳代	53	7.01%	20.31%
30歳代	115	15.21%	31.08%
40歳代	146	19.31%	34.19%
50歳代	114	15.08%	39.31%
60歳代	158	20.90%	47.31%
70歳代	123	16.27%	48.24%
80歳代	44	5.82%	37.29%
90歳代～	0	0.00%	0.00%
未回答	3	0.40%	

(3) 職業

区分	回答数	構成比
会社員	208	27.51%
自営業	43	5.69%
団体職員	20	2.65%
農林漁業	1	0.13%
家事専業	165	21.83%
パート・アルバイト	97	12.83%
学生	13	1.72%
無職	160	21.16%
その他	44	5.82%
未回答	5	0.66%

(4) 居住地区

区分	回答数	構成比	回収率
片瀬地区	32	4.23%	30.77%
鶴沼地区	105	13.89%	37.77%
辻堂地区	77	10.19%	38.89%
村岡地区	52	6.88%	38.52%
藤沢地区	78	10.32%	33.62%
明治地区	35	4.63%	25.18%
善行地区	75	9.92%	35.38%
湘南大庭地区	49	6.48%	29.70%
六会地区	53	7.01%	33.13%
湘南台地区	63	8.33%	43.45%
遠藤地区	33	4.37%	56.90%
長後地区	53	7.01%	32.32%
御所見地区	33	4.37%	35.87%
分からない	12	1.59%	
未回答	6	0.79%	

2 重点施策に関する調査

(1) 実感度 (充実感等があるか)

施策候補名	非常に ある	少し ある	あまり ない	まった くない	該当 しない	分から ない	未回答	実感度
災害に強いまちづくりの推進	28	241	226	53	122	68	18	35.58%
公共施設の再整備の推進	20	161	229	38	188	98	22	23.94%
13地区のまちづくりの推進	26	209	240	53	168	44	16	31.08%
市民文化ゾーンの再整備の推進	65	272	180	54	131	29	25	44.58%
元気と健康づくりの推進	37	253	190	40	180	41	15	38.36%
市内中小企業の活力再生	35	218	211	53	164	58	17	33.47%
市内産農水産物の地産地消の推進	26	208	192	43	181	85	21	30.95%
地域資源の開拓等による消費観光の推進	90	310	142	38	123	30	23	52.91%
誰が快適に移動できる交通まちづくりの推進	86	287	156	52	129	27	19	49.34%
スポーツ施設の整備拡充	52	256	161	42	182	45	18	40.74%
環境施設整備の推進	169	372	51	9	107	31	17	71.56%

## (2) 実現度 (充足度)

施策候補名	大変充足	概ね充足	不足気味	不足	分からない	未回答	実現度
シティプロモーションの推進	50	355	232	31	75	13	53.57%
マルチパートナーシップの推進	25	178	311	83	141	18	26.85%
郷土文化資産の活用の推進	23	191	273	85	165	19	28.31%
障がい者の相談支援体制の拡充	15	153	276	127	168	17	22.22%
若者を中心とした自立支援	59	296	190	45	147	19	46.96%
きめ細やかな福祉相談と事業連携の推進	33	231	235	93	144	20	34.92%
犯罪のない、明るいまちづくりの推進	32	349	200	71	85	19	50.40%
教育現場におけるICT化の推進	17	124	165	31	403	16	18.65%
学校生活における食の充実	31	187	110	23	383	22	28.84%
消防力の充実・強化	109	432	85	16	102	12	71.56%
安全で快適な道路環境の整備	75	318	208	114	29	12	51.98%
再生可能エネルギーの推進	7	69	223	140	300	17	10.05%

## (3) 満足度

施策候補名	大変満足	やや満足	普通	やや不満	不満	分からない	未回答	満足度
地域コミュニティ活動への支援強化	46	104	372	67	48	101	18	22.90%
市民が実感する市民活動の推進	14	86	340	67	30	196	23	17.86%
高齢者福祉施設・居住(居宅)系サービス基盤の整備促進	15	55	199	74	32	358	23	17.59%
地域のニーズに即した子育て支援策の充実	26	126	238	100	34	201	31	27.39%
企業立地の促進	13	45	185	105	49	332	27	13.68%
「学び」を活用した生涯学習の充実	15	84	253	99	34	240	31	19.19%
(仮称)街なみ百年条例にもとづく歴史と景観まちづくりの推進	35	146	292	131	61	65	26	26.19%
谷戸をはじめとする緑地保全の推進	36	137	301	106	55	98	23	26.29%
公立病院としての機能強化	65	187	269	113	56	42	24	35.29%
学校生活に困難がある児童生徒への対応の強化	10	54	204	78	35	343	32	15.50%
待機児童の解消	7	28	123	86	74	403	35	9.92%
村岡地区まちづくりの推進・藤沢駅周辺地区再整備の促進	45	149	260	142	92	43	25	27.21%
西北部のまちづくりの推進・土地区画整理によるまちづくりの推進	17	86	184	99	82	263	25	20.89%
都市インフラ(橋梁、道路、下水道等)の再整備の推進	9	40	211	124	78	263	31	9.94%

## 3 都市像・基本目標に関する調査(実現度(充足度))

施策候補名	大変充足	概ね充足	不足気味	不足	分からない	未回答	実現度
暮らしやすいまちであること。	42	415	153	46	78	22	60.45%
愛着の持てるまちであること。	62	359	145	33	136	21	55.69%
安全な暮らしを守る	14	209	267	87	155	24	29.50%
文化・スポーツを盛んにする	19	198	228	59	225	27	28.70%
豊かな環境を創る	30	360	185	48	110	23	51.59%
子どもたちを守り育む	33	338	159	45	154	27	49.07%
健康で安心な暮らしを支える	45	375	179	44	86	27	55.56%
地域経済を循環させる	10	143	253	97	226	27	20.24%
都市基盤を充実する	36	286	219	85	108	22	42.59%
市民自治・地域づくりを進める	15	171	242	67	239	22	24.60%

4 重要度調査

施策候補名	割合
災害に強いまちづくりの推進	51.32%
公共施設の再整備の推進	13.62%
13地区のまちづくりの推進	28.84%
市民文化ゾーンの再整備の推進	11.90%
元気と健康づくりの推進	21.96%
市内中小企業の活力再生	22.22%
市内産農水産物の地産地消の推進	13.76%
地域資源の開拓等による消費観光の推進	12.96%
誰が快適に移動できる交通まちづくりの推進	28.44%
スポーツ施設の整備拡充	8.86%
環境施設整備の推進	35.45%
シティプロモーションの推進	21.03%
マルチパートナシップの推進	14.81%
郷土文化資産の活用の推進	8.73%
障がい者の相談支援体制の拡充	38.10%
若者を中心とした自立支援	24.34%
きめ細やかな福祉相談と事業連携の推進	42.86%
犯罪のない、明るいまちづくりの推進	49.34%
教育現場におけるICT化の推進	4.89%
学校生活における食の充実	10.71%
消防力の充実・強化	39.95%
安全で快適な道路環境の整備	26.72%
再生可能エネルギーの推進	20.77%
地域コミュニティ活動への支援強化	12.30%
市民が実感する市民活動の推進	9.39%
高齢者福祉施設・居住（居宅）系サービス基盤の整備促進	34.79%
地域のニーズに即した子育て支援策の充実	38.76%
企業立地の促進	12.57%
「学び」を活用した生涯学習の充実	10.45%
（仮称）街なみ百年条例にもとづく歴史と景観まちづくりの推進	21.43%
谷戸をはじめとする緑地保全の推進	16.80%
公立病院としての機能強化	49.60%
学校生活に困難がある児童生徒への対応の強化	18.92%
待機児童の解消	22.35%
村岡地区まちづくりの推進・藤沢駅周辺地区再整備の促進	26.06%
西北部のまちづくりの推進・土地区画整理によるまちづくりの推進	10.71%
都市インフラ（橋梁、道路、下水道等）の再整備の推進	35.58%
暮らしやすいまちであること。	39.55%
愛着の持てるまちであること。	20.37%
安全な暮らしを守る	46.69%
文化・スポーツを盛んにする	8.47%
豊かな環境を創る	12.96%
子どもたちを守り育む	31.48%
健康で安心な暮らしを支える	46.16%
地域経済を循環させる	19.71%
都市基盤を充実する	20.77%
市民自治・地域づくりを進める	9.79%

5 参加申込状況

(1) 参加意思

区分	回答数
参加（10月29日（長後））	3
参加（11月2日（市役所））	30
不参加	478
未定	195

(2) 参加テーマ

テーマ	回答数
防災・防犯	7
文化・スポーツ	2
環境	7
子育て・教育	2
福祉・健康	8
地域の経済	3
都市基盤（道路・公園・下水道など）	6
自治会・地域の活動	2
その他	1
わからない	3



## 市民生活に関する意識調査（2013年（平成25年））

選択式の回答は、該当箇所のマークを塗りつぶしてご回答ください。

: 空白マーク    : 正しいぬりつぶし    : 不十分なぬりつぶし

油性マジックのような、裏面ににじむものでの記入はさけてください。記述式の回答は、回答欄からはみ出さないように記入してください。

この用紙は機械で処理します。回答欄以外に書き込みをしたり、用紙を汚したり、折り目を付けたたりしないように注意してください。

## 【ご回答いただいている方について】

(1) 性別をお答えください。

男性                       女性

(2) 年代をお答えください。

20歳代                       30歳代                       40歳代                       50歳代                       60歳代  
 70歳代                       80歳代                       90歳以上

(3) ご職業をお答えください。

会社員                       自営業                       団体職員                       農林漁業                       家事専業  
 パート・アルバイト     学生                       無職                       その他

(4) お住まいの地区をお答えください。

片瀬地区                       鶴沼地区                       辻堂地区                       村岡地区                       藤沢地区  
 明治地区                       善行地区                       湘南大庭地区                       六会地区                       湘南台地区  
 遠藤地区                       長後地区                       御所見地区                       分からない

次のページに続きます。



【藤沢全体のことについて】

(5) 次の1～12の項目についてどのようにお感じになりますか？それぞれ該当する欄に1つずつマークしてください。また、1～12の中で生活において重要だと思われるものには、一番右の欄にマークしてください（6つまで）。

		どのように思われますか？						重 要
		すごく そう思う	少しそ う思う	どちら でもない	あまり 思わない	まったく 思わない	わからない	
1	地域で災害への備えができていますと感じますか？	<input type="radio"/>						
2	公共施設を次世代のために、より良い状態で引き継げていると感じますか？	<input type="radio"/>						
3	地域で支え合っていると感じますか？	<input type="radio"/>						
4	市内に文化的な魅力があると感じますか？	<input type="radio"/>						
5	健康づくりを支える環境が充実していると感じますか？	<input type="radio"/>						
6	市内の工業に活力があると感じますか？	<input type="radio"/>						
7	市内の商業に活力があると感じますか？	<input type="radio"/>						
8	市内の農水産業に活力があると感じますか？	<input type="radio"/>						
9	市内の観光に活力があると感じますか？	<input type="radio"/>						
10	交通ネットワークが充実していると感じますか？	<input type="radio"/>						
11	スポーツ施設が充実していると感じますか？	<input type="radio"/>						
12	環境に配慮したゴミ処理がされていると感じますか？	<input type="radio"/>						

次のページに続きます。

★マークのしかた



(6) 次の1～12の項目についてどれくらい実現できていると思いますか？それぞれ該当する欄に1つずつマークしてください。また、1～12の中で生活において重要だと思われるものには、一番右の欄にマークしてください（6つまで）。

		今どれくらい実現できていると思いますか？					重 要
		よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない	わからない	
1	市民が自慢できるまちであること。	<input type="radio"/>					
2	市民自らが藤沢を良くする活動に積極的であること。	<input type="radio"/>					
3	豊かな地域の資源を大切に、楽しい体験ができるまちであること。	<input type="radio"/>					
4	社会的弱者の方が快適に過ごせるまちであること。	<input type="radio"/>					
5	子どもが、住んでいる地域に誇りを持ち、地域で暮らし続けていること。	<input type="radio"/>					
6	福祉が充実し、子どもから高齢者まで守られていること。	<input type="radio"/>					
7	犯罪のない、明るいまちであること。	<input type="radio"/>					
8	パソコンなどの情報機器を使った学校での教育活動が盛んなまちであること。	<input type="radio"/>					
9	食事や食生活を意識した学校生活がなされていること。	<input type="radio"/>					
10	消防や救急の活動が充実していて、安心できること。	<input type="radio"/>					
11	道路が整備され、快適であること。	<input type="radio"/>					
12	自然エネルギーが有効に活用されているまちであること。	<input type="radio"/>					

次のページに続きます。

★マークのしかた



(7) 次の1～14の項目の取り組みへの満足度についておうかがいします。また、1～14の中で生活において重要だと思われるものには、一番右の欄にマークしてください（7つまで）。

		どのように思われますか？						重 要
		満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	わからない	
1	自治会活動について	<input type="radio"/>						
2	市民主体のまちづくり活動について	<input type="radio"/>						
3	高齢者の在宅サービスについて	<input type="radio"/>						
4	安心して子育てができる環境づくりについて	<input type="radio"/>						
5	新しい産業の立地について	<input type="radio"/>						
6	生涯学習の機会や場の提供について	<input type="radio"/>						
7	美しい街なみなど、市内の景観づくりについて	<input type="radio"/>						
8	斜面緑地や樹木など緑の保全について	<input type="radio"/>						
9	いつでも安心して受けられる医療の充実について	<input type="radio"/>						
10	個性豊かな児童生徒が育成される開かれた学校づくりについて	<input type="radio"/>						
11	保育園の待機児童の解消について	<input type="radio"/>						
12	駅をはじめとする都市の拠点の整備について	<input type="radio"/>						
13	市の北部の道路や住宅の整備について	<input type="radio"/>						
14	橋や下水道の老朽化対策について	<input type="radio"/>						

次のページに続きます。

★マークのしかた



(8) 次の1～10の項目についてどれくらい実現できていると思いますか？それぞれ該当する欄に1つずつマークしてください。また、1～10の中で生活において重要だと思われるものには、一番右の欄にマークしてください（5つまで）。

		今どれくらい実現できていると思いますか？					重 要
		良くできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない	わからない	
1	誰もが快適に暮らせ、居心地の良いまちであること。	○	○	○	○	○	○
2	子供が大人になっても愛着の持てるまちであること。	○	○	○	○	○	○
3	災害に対して、市民が不安なく暮らせるまちであること。	○	○	○	○	○	○
4	地域の記憶や文化が継承され、発展すること。	○	○	○	○	○	○
5	まちと自然環境の調和がとれていること。	○	○	○	○	○	○
6	子どもを安心して育てられる環境があること。	○	○	○	○	○	○
7	保健、医療、福祉、健康などの生活環境が整い暮らしやすいこと。	○	○	○	○	○	○
8	産業の活力を高め、地域が元気になること。	○	○	○	○	○	○
9	移動や利用にあたり、誰でも利用できる道路や施設であること。	○	○	○	○	○	○
10	市民の意識が高く、市民参加型の地域づくりが進んでいること。	○	○	○	○	○	○

【その他】

(9) このアンケートについても含め、市へのご意見などがありましたらお聞かせください。

(何も書かなくても構いません。)

(個別にはお答えできませんので、あらかじめご了承ください。)

次のページに続きます。



## 【市民ワークショップについて】

## 「生活課題を考える 市民ワークショップ」参加のお誘い

ここまでお答えいただいたアンケートの内容について、「こんなことに困っている」「こういうところを良くしたい」などの具体的な意見交換をいただく「生活課題を考える市民ワークショップ」を行います。意見交換の結果は、市の重点的な取り組みの検討に反映していきます。ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

詳細は、同封のご案内をご覧ください。

このワークショップについておうかがいします。

(10) ご参加いただけますか？

- 10月29日（火）（長後市民センター）に参加する。
- 11月2日（土）（藤沢市役所）に参加する。
- 参加しない。
- わからない。

(11) (10)で「参加する」とお答えいただいた方におうかがいします。意見交換する分野の希望はありますか？最もあてはまるものを1つ選んでください。

- 防災・防犯
- 文化・スポーツ
- 環境
- 子育て・教育
- 福祉・健康
- 地域の経済
- 都市基盤（道路・公園・下水道など）
- 自治会・地域の活動
- その他（ ）
- わからない

(12) (10)で「参加する」とお答えいただいた方におうかがいします。意見交換で希望される具体的な内容があればご記入ください。

(例) 地震や津波に不安がある。子どもが自由に遊べる環境があると良い。 など

アンケートは以上です。2013年（平成25年）10月18日（金）までにご返送ください。  
ご協力ありがとうございました。

※ ワークショップにご参加いただける皆さまへ

アンケートは無記名での回収となりますので、改めて開催のご案内状等の送付はございません。当日、会場に直接お越しください。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

## 市民ワークショップのテーマ

## 1 防災について

地震や台風をはじめ、災害に対する不安が高まっていると思います。アンケートの結果を見ると、

- ① 「地域で災害の備えができていますか」の質問に  
「すごくそう思う」「少しそう思う」と回答された方は、全体の約 36%、  
「あまり思わない」「まったく思わない」と回答された方も約 36% でした。  
20歳代～30歳代の方のほうが「あまり思わない」「まったく思わない」という回答の割合が高くなっています。
- ② また、「災害に対して、市民が不安なく暮らせるまちであること。」の実現度に関する質問に、  
「よくできている」「だいたいできている」と回答された方は、全体の約 30%、  
「あまりできていない」「できていない」とされた方は、全体の約 47% でした。
- ③ さらに、防災に対する重要度は 51.32% であり、全体の半数以上の方が重要であると回答されています。

全体としては備えについては、いろいろな意見があるけれど、安心にまでは至っていないということかと思われます。

「備えあれば憂いなし」とはいかないのかも知れませんが、少しでも安心感を高めるためにはどのような取り組みが必要であると思われますか。

皆様のご意見をお願いします。

## 2 誇りや愛着について

「市民が自慢できるまちであること。」について、「よくできている」「だいたいできている」と回答された方は53.57%で、全体の半数以上となっています。また「子供が大人になっても愛着の持てるまちであること。」について、「よくできている」「だいたいできている」と回答された方は53.57%となっています。

藤沢の自慢できるところ、愛着の持てるところはどんなところでしょうか。  
ご自由にご発言ください。

### 3 都市基盤

北部のまちづくりについての重要度の質問には、次のような回答を得ています。

31%	片瀬地区
38%	鵜沼地区
39%	辻堂地区
39%	村岡地区
34%	藤沢地区
25%	明治地区
35%	善行地区
30%	湘南大庭地区
33%	六会地区
43%	湘南台地区
57%	遠藤地区
32%	長後地区
36%	御所見地区

南部でも北部とさほど変わらない重要度となっていますが、この回答の要因としてはどのようなことを思われたとお考えになりますか。また、どのような取り組みを進めれば、南部の方にも有効なまちづくりになるとお考えになりますか。

#### 4 子育てについて

「安心して子育てができる環境づくりについて」の満足度は、「満足」「やや満足」と回答された方の割合は約27%でした。「やや不満」「不満」と回答された方の割合は約24%でした。これらには「分からない」と回答された方を母数から除いていますが、実際には「分からない」と回答された方が約27%いらっしゃいました。

20歳代～40歳代の回答の平均を見ると、「満足」「やや満足」と回答された方が約5%、「やや不満」「不満」と回答された方が約27%です。

「保育園の待機児童の解消について」の満足度は、「満足」「やや満足」と回答された方の合計が約10%でした。反対に約45%の方が「やや不満」「不満」という回答でした。これらには「分からない」と回答された方を母数から除いていますが、実際には「分からない」と回答された方が約53%いらっしゃいました。

20歳代～40歳代の平均を見ると、「満足」「やや満足」と回答された方が約25%、「やや不満」「不満」と回答された方が約24%です。

藤沢市の2013年4月1日現在の待機児童数は277人、2012年4月1日時点では379人でした。

子育て現役世代の方、既に子育てを終えられた先輩、それぞれから足りないこと、困っていること、解消策などをいただければと思います。

## 5 福祉・医療について

「保健、医療、福祉、健康などの生活環境が整い暮らしやすいこと。」については、全体で約56%の方から「よくできている」「だいたいできている」と回答をいただきました。「あまりできていない」「できていない」という回答は約30%です。高齢者（60歳代以上）の方で集計すると「よくできている」「だいたいできている」と回答された方は約61%、「あまりできていない」「できていない」と回答された方は約24%で、高齢者の方に多く「できている」という回答をいただきました。

ところが、「高齢者の在宅サービスについて」の質問では、全体で「よくできている」「だいたいできている」と回答された方は約18%、「あまりできていない」「できていない」と回答された方は約27%ですが、高齢者の方のみで集計すると「できている」が約13%、「できていない」が40%でした。

また、「いつでも安心して受けられる医療の充実について」の満足度では、全体で「満足」が約35%、「不満」が約24%でしたが、高齢者の方の約37%が「満足」、約47%が不満という状況でした。

実際に入院をされたり、入所されたりという実感からのお答えかと思えます。全体的にはいいが、個々に課題があるということも多いと思います。具体的にご近所などのことも含めて、どのようなところに課題があるのか、体感的、経験的に暮らしやすさを求めることも含めて、どのようなことが大切かについてお聞かせください。